

議 事 要 旨

会議名	徳島県がん診療連携協議会
日 時	平成24年3月13日(月) 19:00～21:10
場 所	徳島大学病院日亜メディカルホール
出席者	別紙のとおり
〔議事内容〕	
開会 福森がん診療連携協議会会長（以下「会長」という。）から本協議会の概略等説明後、各委員から自己紹介及び挨拶の言葉があった。	
議題1 がん診療連携拠点病院の取組について	
(1)各拠点病院の現況 資料に基づき、各拠点病院から報告があった。 徳島大学病院では、テレビ会議システムを利用したキャンサーボードを開催しており、徳島県立中央病院、三好病院、海部病院の参加がある。医療連携の1つとして取り組んでおり、病院機能評価でも高く評価されているとの報告があった。	
(2) 徳島県地域がん診療連携推進病院について 徳島県健康増進課から、「徳島県地域がん診療連携推進病院」の指定について、平成23年3月に健康対策審議会で審議され、健康保険鳴門病院、徳島県立三好病院、阿南共栄病院が指定済みである旨、報告があった。	
議題 2 がん登録事業について 有澤委員から、配布資料を基に以下の報告があった。 ①2007年地域がん登録の結果について、DCO割合（割合死亡票のみで登録を実施された件数の割合）は国際的には10%以下が望ましいとされているが、徳島県は46.6%である。保健所別DCO割合は、県の西部、南部で割合が高くなっており、地域がん登録の精度、カバー率が低いことが挙げられる。 ②予後調査について、予後調査依頼用フォーマットが出来ており、平成24年4月1日から開始予定である。 ③来年度に、徳島県がん登録研修会を実施予定である。	
議題 3 緩和ケアについて 寺嶋委員から、配布資料およびスライドを基に、以下の報告があった。 ①徳島の緩和ケアの供給状況、医師会の在宅ケアネットワーク、緩和ケア基本研修会の修了者数について。医師対象の緩和ケア基本研修会の修了者が4年間で約350名となったが、がん対策推進計画の「がん診療に関わる全ての医師」の目標には届かない。 ②徳島県から総合メディカルゾーンに委託された「徳島がん対策センター」の在宅緩和ケア支援事業の中で、在宅に関わる多職種の連携講習会や事例検討会、県民向けの講演会「あな	

たの家の帰ろう」など実施している。

③高校生対象（徳島商業高校）に「がん検診率向上プロジェクト」を実施された。徳島県からの委託事業として、NPO 法人 AWA がん対策募金が担当。ピアサポーター（がん体験者が支援者になる）養成講演会も開催された。徳島県の委託、患者会「ガンフレンド」が実施。

④「リビング・ウィル」について、聖路加国際病院を参考に徳島県立 3 病院版を作成し 7000 部以上配布した。

議題 4 地域連携クリティカルパスについて

(1)各がん部会報告

各部会の活動状況について、主なものとして以下の報告があった。

胃がん部会：ステージⅠは運用されており、ステージⅡは作成済みである。

肝がん部会：肝炎と兼ねて、患者手帳を作成した。部会承認後、運用予定である。

子宮がん部会：パスは作成済みであり、数か月以内に開始予定する予定である。

肺がん部会：手術については拠点病院で把握しているが、化学療法については把握ができていないため、患者手帳を利用することで症状を知ることが出来る。

乳がん部会：患者手帳を作成している。拠点病院以外にも配布しており、治療を開始した施設で配布している。

大腸がん部会：手帳を作成中である。

議題5 インフォームドコンセントとQOLの維持向上について

QOLの取組について、徳島大学病院、徳島県立中央病院から説明があった。

勢井委員から、インフォームドコンセントでは医師から説明があるが、わからない部分が多い。看護師などからも説明内容についてもう一度説明が聞けるシステム作りをお願いしたいとの要望があった。

会長から、医師の説明をサポートする立場の看護師の養成が必要であり、がん認定看護師の養成について動き出しているとの発言があった。

議題6 その他

(1)徳島がん対策センターについて

ホームページに「徳島のがん診療機関 スピード検索」を作成し、グーグルマップから、がん診療病院を探すことができるようになった。

医療者向け情報サイトを構築中である。

勢井委員から、5大がん以外のがんについても徳島県内の治療実績を公開して欲しいこと、視覚的に分かりやすい形でホームページに掲載して欲しいと要望があった。

(2)在宅緩和ケアについて

水口委員から、在宅緩和について、病院から依頼されてくる時期が遅すぎるので調整をお願いしたいとの発言があり、寺嶋委員から、拠点病院の治療計画について、緩和について発想しなければならないし、そのための研修会が必要である旨発言があった。

水口委員から、看護協会の訪問看護ステーションでは介護と医療と両方ケアできるようにと

いうことで、平成24年に整備、平成25年開始予定であるとの発言があった。

(3)地域連携クリティカルパスについて

徳島県健康増進課から地域連携クリティカルパスの加算について、拠点病院も徳島県地域がん診療連携推進病院も同様である旨、説明があった。

金山委員から、次年度に研修会を実施したいとの発言があった。

(4)次年度の協議会の開催回数について

1年に1回開催して、意見交換を1回開催することとなった。

部会と協議会との時期の整合性について、がん登録部会、他の部会、協議会の順序で開催されることとなった。

会長から閉会の言葉があり、閉会となった。

以上